



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックを迎えるにあたり、選手や競技、オリンピックについての紹介コーナーを設けることで子どもたちが事前に予備知識を得ることができた。オリンピック・パラリンピックへの興味関心が高まるとともに、競歩に関して学んだ上でオリンピックを迎えることができた。 ・オリンピックに幼少期からオリンピック出場までの話、さらに東京オリンピックを目指しているという話を聞き、あきらめずに努力を続けること、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れないことが大切であることを学んだ。穏やかな優しい語り口で、話の内容が子どもたちの心に響いた。 ・三大会連続出場のオリンピックとのふれあいということで、子どもたちの目の輝きがすばらしく、最後まで意欲的に活動していた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックへの興味を深めスポーツに親しもうとする気持ちをもたせるためには、まずオリンピックとのふれあいをする必要があると考え、オリンピックの訪問を要請しての事業を計画した。メディアの向こう側の存在が目の前で語ってくれたり、一緒に体を動かしてくれたりは子どもたちにとって大きな宝物になるとともに、これからの様々な活動のエネルギーの源となると思う。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のようにオリンピックの訪問を要請する場合、何のつてもない学校においては、オリンピックを選び、交渉し、所属団体や関連団体との連絡を取り合うことは困難を極める作業である。事業の中身はいろいろ考えられるが、子どもたちにとって最もインパクトのあるのがオリンピックとのふれあいであるので、対応してもらえるオリンピック・パラリンピアンリストを作っていただけでありがたい。
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、レスリングと競歩のオリンピックとのふれあいを行なうことができたので、可能であればパラリンピアンとのふれあいの機会を計画していきたい。 ・実践テーマに該当する内容について、総合的な学習等での取り組みを意識して教育課程を編成し、様々な資料を用意してオリンピック・パラリンピックについてやそれに関連する学習を進めていきたい。

